

昭和産業グループ 事業ポートフォリオ基本方針

昭和産業グループは、グループ経営理念「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」を実現するために、多種多量の穀物を扱う「穀物ソリューション・カンパニー」として、食の源である穀物を生み出す大地とその環境を守り、穀物を余すことなく最大限に有効活用していくことが社会的使命であり、責任であると考えています。

当社グループは、グループ経営理念を実現するため、基盤事業による安定的な投資原資の創出と、将来の企業価値の源泉となる成長投資の推進の両面より、事業ポートフォリオの最適化を図ることで、企業価値の持続的成長を目指してまいります。

1. 基盤事業の盤石化

基盤事業における事業収益の安定化・強化による投資原資の創出のため、高付加価値商品の開発及び生産性向上によるコスト削減に取り組んでおります。

生産能力の増強、安全・安心・安定供給、サプライチェーン改革のための投資は継続して実施してまいります。

2. 成長事業の育成

国内外の新たな領域・地域での市場拡大を目指し、各事業における事業機会や成長分野を的確に見極め、積極的かつ果敢な投資を実施しております。また、環境負荷低減のための設備投資を推進することにより、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

将来の企業価値の源泉となる成長投資は、引き続き推進してまいります。

3. 当社グループの投資方針

各事業の成長に資する個別投資については「投資検討委員会」を経営会議の諮問機関として設けており、「投資検討委員会規程」に基づき的確に運用しております。「投資検討委員会」は、コーポレート部門統轄を委員長に、事業面、技術面、そして、管理面から投資の妥当性、採算性などを総合的に審査しております。

特に、事業面については、各事業担当の業務執行役員をおき、投資に対する責任を明確にするとともに、事業・営業部門統轄がその投資の事業性についての判断を行っております。「投資検討委員会規程」に基づきその重要性等を鑑みて、審査により総合的に必要と判断された案件は経営会議において事業上の意義、必要性及び採算性等についてさらに審議を行っております。

また、資本コストをベースにハードルレートを設定し、これを超過する収益性を検証することにより、実効性の高い投資を実施するとともに、確実な収益化を図ってまいります。

昭和産業株式会社

制定：2021年11月26日

改定：2023年4月1日